

2022年2月14日

各位

東京都千代田区平河町二丁目5番3号
株式会社ガイアックス
代表執行役社長 上田 祐司
(コード番号: 3775 名証セントレックス)
(連絡先) 執行役管理本部長 野澤 直人
TEL 03-5759-0300 (直通)

2021年12月期通期連結・個別業績見込みと前期実績値との差異並びに
有価証券評価損(売上原価)の計上に関するお知らせ

2021年12月期の通期連結・個別業績見込みが、前連結・個別会計年度の実績値と比較して、差異が生じる見込みとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。また、2021年12月期連結決算及び個別決算において、有価証券評価損を計上しておりますので併せてお知らせいたします。

なお、当社は2021年12月期の業績予想は公表しておりません。

記

1. 2021年12月期通期連結業績見込み(2021年1月1日~2021年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益又は営業損失 (△)	経常利益又は経常損失 (△)	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は純 損失(△)	1株当たり 当期純利益 又は純損失 (△)
前期実績(A)	2,445	173	153	154	円 銭 31.55
当期見込み(B)	2,196	△195	△195	△30	△6.18
増減額(B-A)	△248	△368	△348	△185	—
増減率(%)	△10.2%	—	—	—	—

2. 2021年12月期個別業績見込み(2021年1月1日~2021年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益又は営業損失 (△)	経常利益又は経常損失 (△)	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	2,169	229	179	154	円 銭 31.37
当期見込み(B)	2,032	△74	△122	1	0.25
増減額(B-A)	△137	△303	△301	△152	—
増減率(%)	△6.3%	—	—	△99.2	—

3. 差異の理由

(1) 連結業績

当連結会計年度は、インキュベーション事業において当社の投資先である株式会社 Photosynth が上場したことにより、当社が保有している当該株式の一部を売却し大きな売上を計上したものの、インキュベーション事業の各サービスにおいては、新型コロナウイルスの影響により売上が伸び悩み、前年実績を下回る結果となりました。

利益面は、連結子会社の EDGE 株式会社の株式を売却し、子会社株式売却益を計上したものの、下記4に記載のとおり有価証券評価損を売上原価に計上しており、また販売管理費においては、社内体制増強のため人件費が増加し利益を圧迫いたしました。これらの理由により前期実績との差異が生じる見込みであります。

(2) 個別業績

当事業年度の売上高につきましては、上記(1)連結業績のとおり、株式会社 Photosynth の株式の一部売却があり売上高増加に貢献したものの、インキュベーション事業の各サービスの売上が伸び悩み、前年実績を下回る結果となりました。利益面についても、人件費が増加し利益を圧迫いたしました。これにより前期実績との差異が生じる見込みであります。

4. 有価証券評価損の計上について

インキュベーション事業で保有している有価証券のうち実質価額が下落し、回復する可能性が低いと想定されるものについて保守的に評価し、連結及び個別決算において7銘柄に係る22百万円の有価証券評価損を売上原価に計上しております。

以上